

製品名: CLN5 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe87761**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:200-1:2000,ICC/IF 1:20-1:50
分子量	Calculated MW:42 kDa; Observed MW:50 kDa

抗原情報

遺伝子名	CLN5
別名	NCL
遺伝子ID	1203
SwissProt ID	O75503
免疫原	ヒトCLN5の合成ペプチド

背景

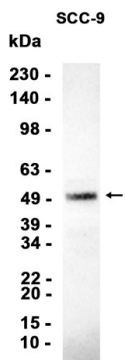
この遺伝子は、神経細胞セロイドリポフスチノーシス（NCL）と関連付けられている8つの遺伝子のうちの1つです。バットン病と

も呼ばれる NCL は、小児に発症する常染色体劣性神経変性疾患の一種です。原因遺伝子は、リソソーム内で翻訳後修飾を受けたタンパク質の分解に関与するタンパク質をコードしていると考えられます。NCL 疾患における主要な欠陥は、リソソーム貯蔵機能に関連していると考えられています。[RefSeq 提供、2008 年 10 月]

研究分野

-

画像データ



db11462 を 1:3000 で使用して SCC-9 細胞抽出物をウェスタン ブロット分析しました。